

根性論＋冷徹なシステム化＝上級キャリアコース

経済学部経済学科 奥彰太
(岡山県立 岡山南高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

高校では陸上部に所属し、主将として短距離走に取り組んでいました。2年時には、岡山県高校ランキングで4位に入るなどの成果を収める一方、勉強面でも努力を重ね、岡山県技術顕彰を受賞しました。

2. 上級キャリアコースは厳しいのか？

上級キャリアコース(以下、上キャリ)では、1年次からハイレベルなミクロ・マクロ経済学を学習します。さらに、月に数回のペースでテストが実施され、メンバー全員の点数と順位が公開されます。また、受講態度に対する指導も厳しく、私語や居眠りをした者には直ちに退席が命じられます。くわえて、メンバーの全員が、放課後や長期休暇中に実施される課外特別講義にも参加します。強制ではありませんが、参加したくないのなら、そもそも上キャリに入らない方がよいでしょう。また、上キャリの講義は同課外講義への参加を前提として進められます。

かなり厳しいと思った人もいるかもしれませんが、出身高校が礼儀作法も含めて非常に厳しい指導をするところだったので、個人的にはそのようには感じませんでした。厳しい教育を受けてこなかった人は、注意した方がいいかもしれません。どのような事情があろうと特別扱いはされません。

3. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？

上キャリでは、同輩間ではもちろんのこと先輩やOB・OGとの連携も強く求められます。また、自分たちの判断によって解決すべき課題も多く与えられます。ですので、誰とでも積極的にコミュニケーションが取れることや、空気を読んで先回りした行動ができることが非常に重要になります。いわゆる、指示待ちは論外です。これらの能力・資質は、上キャリに所属する学生には不可欠ですのでご注意ください。コミュニケーションが苦手だったり積極性に乏しいとしても、成績さえよければそれでいいという組織ではまったくありません。

4. 上級キャリアコースの強みは？

競争原理に基づく淘汰の結果として、意識が高く・やる気のあるメンバーだけがコースに所属していることです。このような状況においては、妥協しそうになったときでも周囲の言葉や取り組む姿勢に刺激を受け、踏み留まって努力し続けることが可能となるのです。実際、私自身も素晴らしい仲間との切磋琢磨の結果として、EREではA評価を実現することができ

ましたし、就活でも優良企業から内定を頂くことができましたが、大学生活でまさかこのような達成感を味わえるとは思っていませんでした。

また、上キャリアでの4年間は強い絆を育むようであり、OB・OGのみなさんは常に後輩たちに強い関心を払ってくださっています。故に、上キャリアに所属すれば一流企業にお勤めの諸先輩方から直接就活指導して頂くことも可能であり、実際に極めて頻繁にその種の指導がなされています。簡単にいうと、コース内に上キャリア専用キャリアセンターがあるようなものであり、この点は上キャリアの強力なアドバンテージといえるでしょう。

5. コースの先生ってどんな人？

まず、大谷先生ですが、真の意味で学生ファーストな先生です。自分の休みを削ってまで指導に時間を割いてくださり、社会に出ても通用するよう導いてくださいます。厳しい言葉も多いですが、裏では誰よりも学生のことを考え、悩んでいた姿があったのだと思います。

「この先生の言葉を信じて取り組めば大丈夫。必ず成果に繋がる」と思える数少ない先生です。

松本先生は、熱意あふれる先生です。熱意が漏れ出しています。3回生以降は、時間割の都合上お会いする機会が減ったのですが、会ったときには就職活動のことを気にかけてくださったり、些細なことでも相談に乗ってくださるなど大変学生思いの先生だと感じました。